







○○○○○が大きいお嬢様とメイドさんのお話。
世界観はよくある中～近世ヨーロッパぽい感じ…で
ゆるく読んでいただければと思います。

ワローゼ国
家

代々
この家に生まれる
女性の体には
ある特徴があつた

それ故に女性たちは
苦労すること
多かったが

現在の当主の娘

ローズはまだ
そのことを
知らない



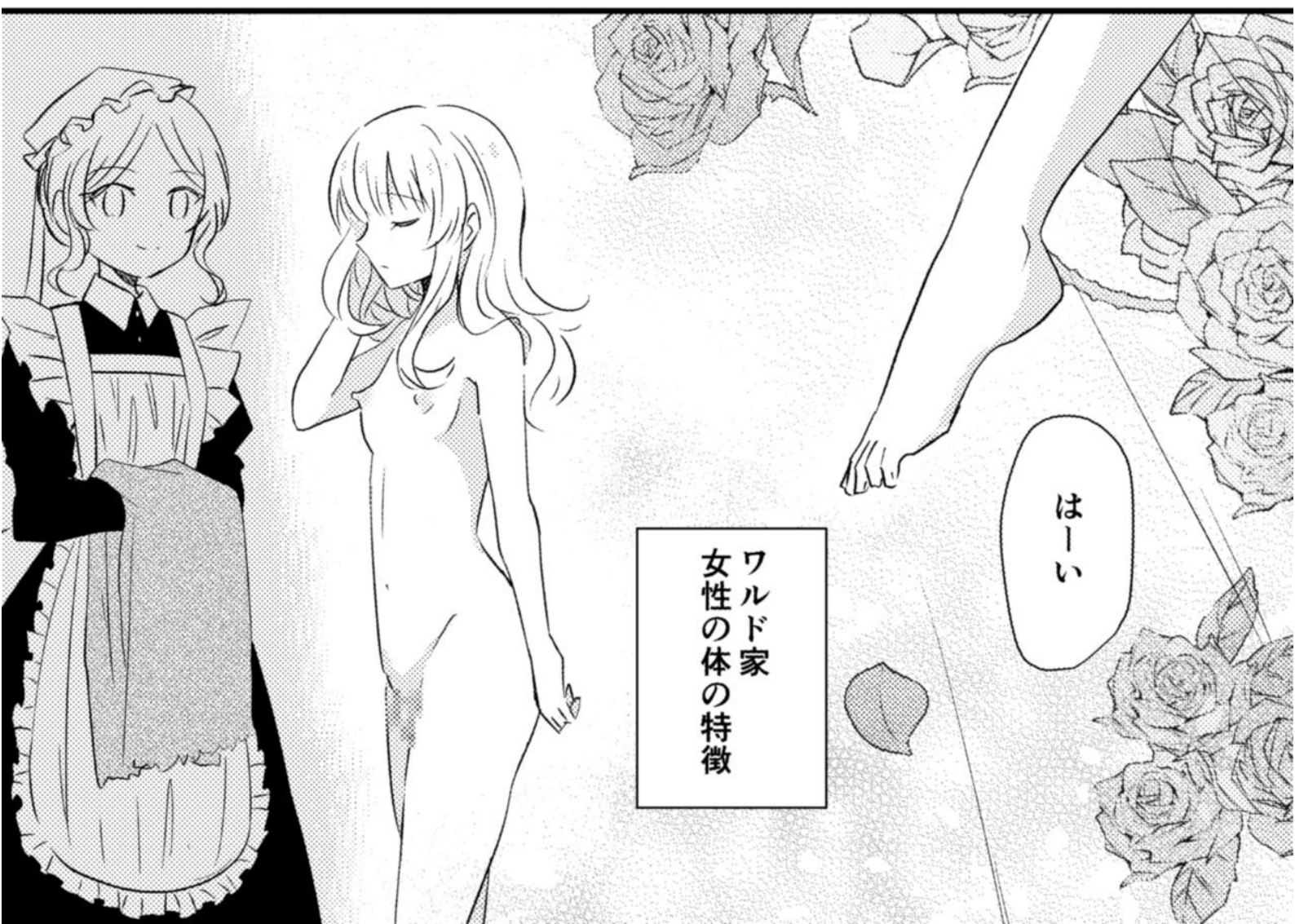
お嬢さま

ズ

ズ

お嬢さま
朝でございます

そろそろ
お目覚めに
なってください



それは

クリ○リスが
男性器のように
大きい事

思春期になると
それは顕著になる

お嬢様も
もうこんなに大きく
なられて…

そろそろ
お気づきになるかも
しれないわよね…

あの変化も
出てくるでしょうし

幼い時から
ずっと見てきた
お嬢様…

なーにアリア
そんな
じっと見て

かわいいかわいい
お嬢様

私もその頃は
大変だったの

あの子の
力になってあげて

アリア、
お願いよ

いいえ
何でも
ございません

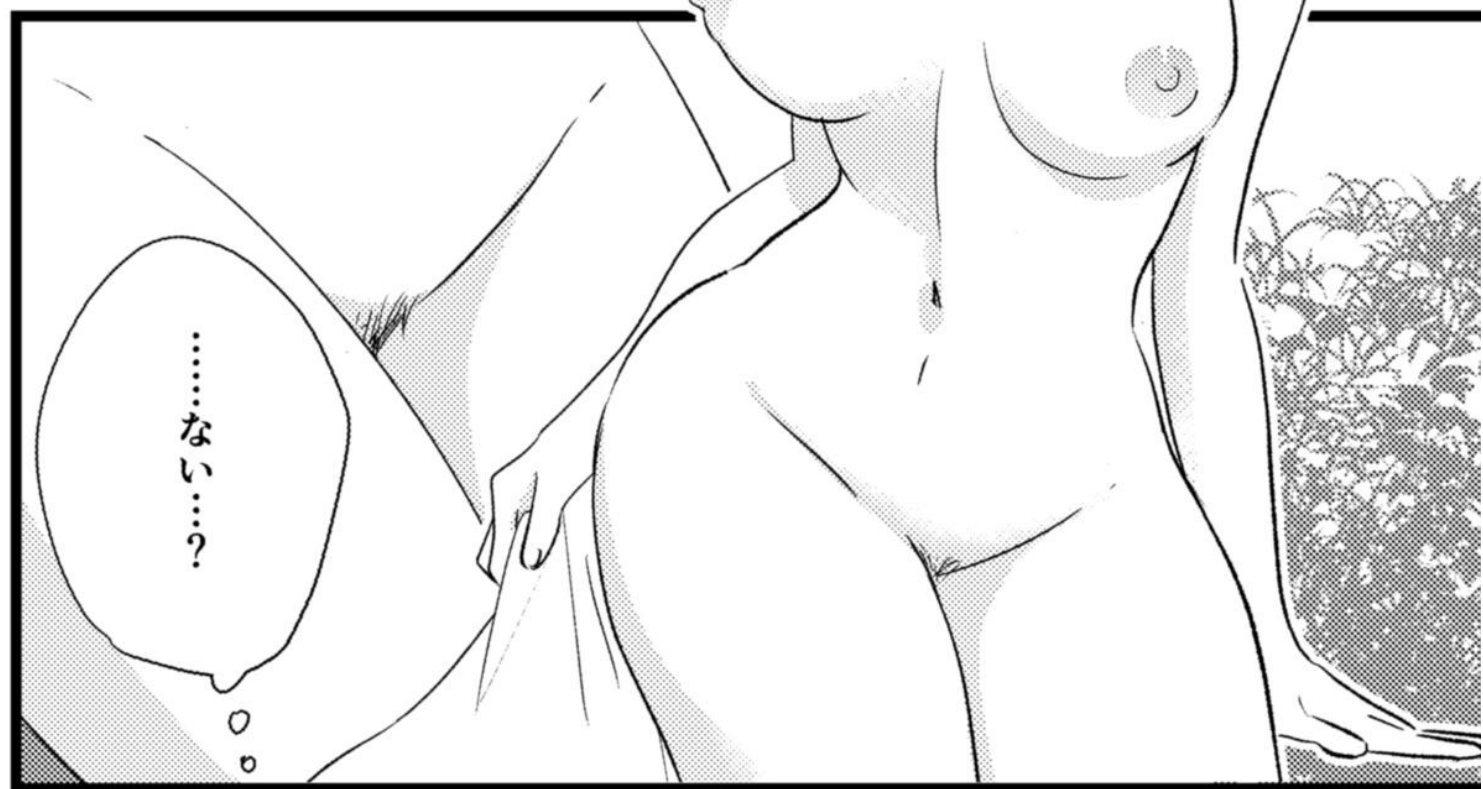
はい
奥様

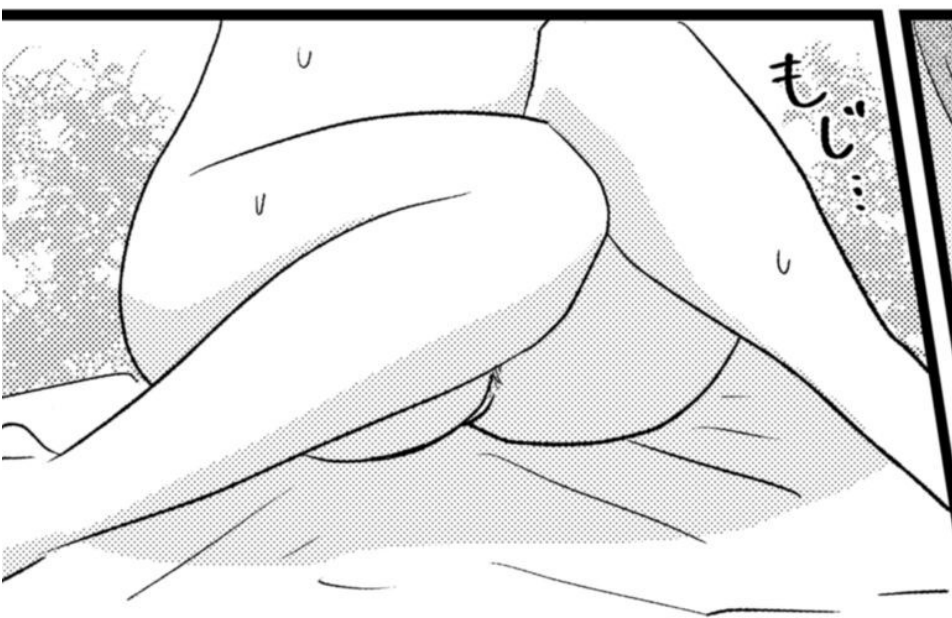
セ
4
4
:

サ
ア
ア
ア

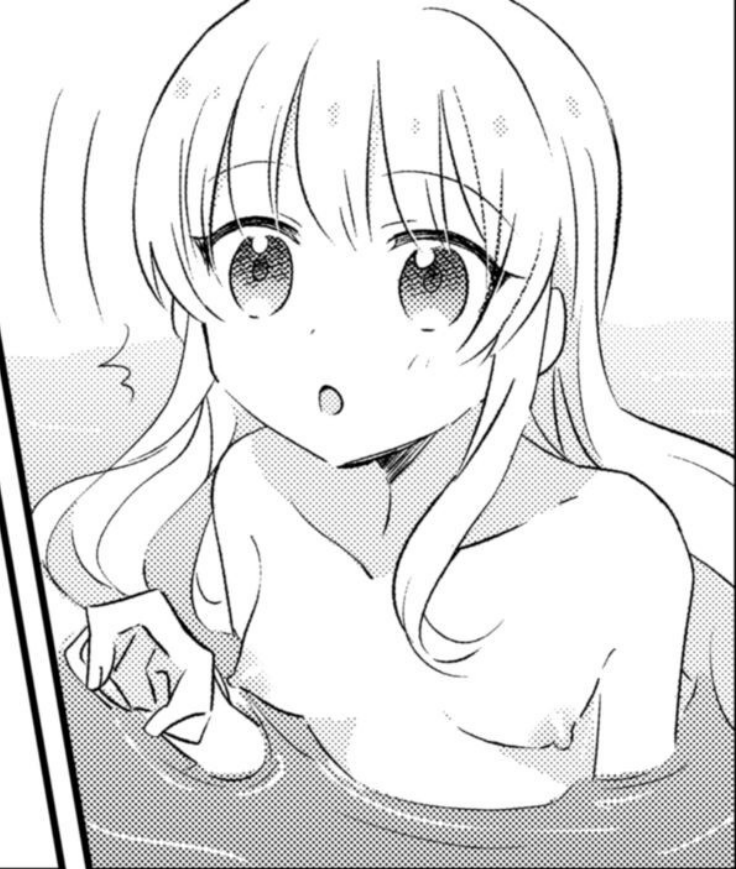






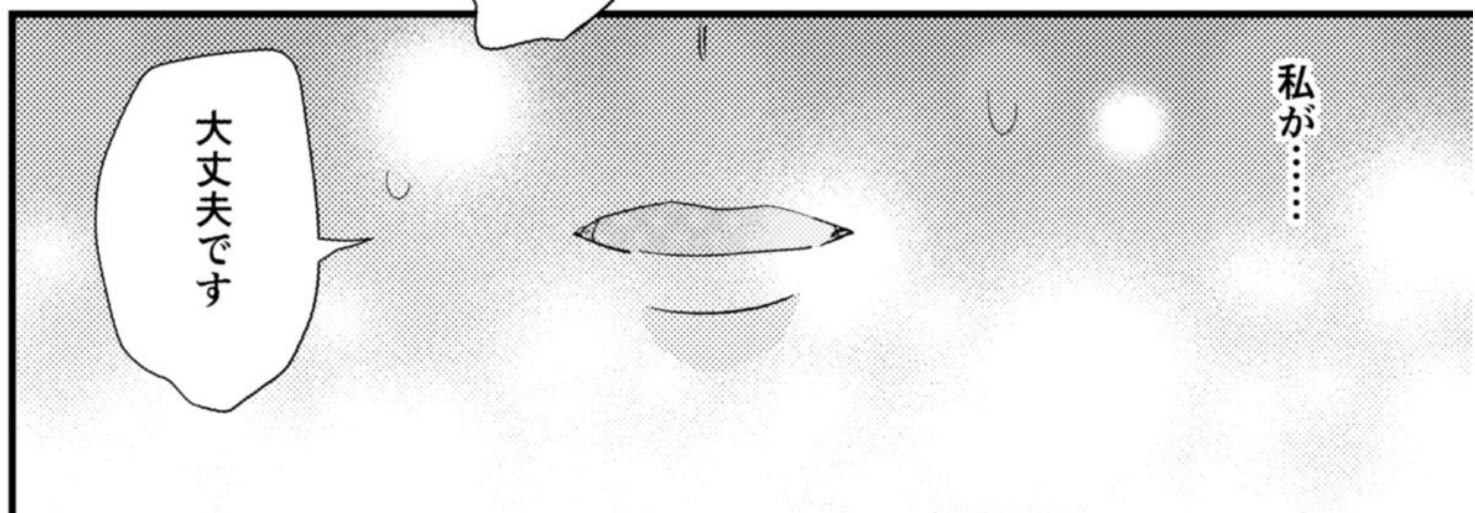




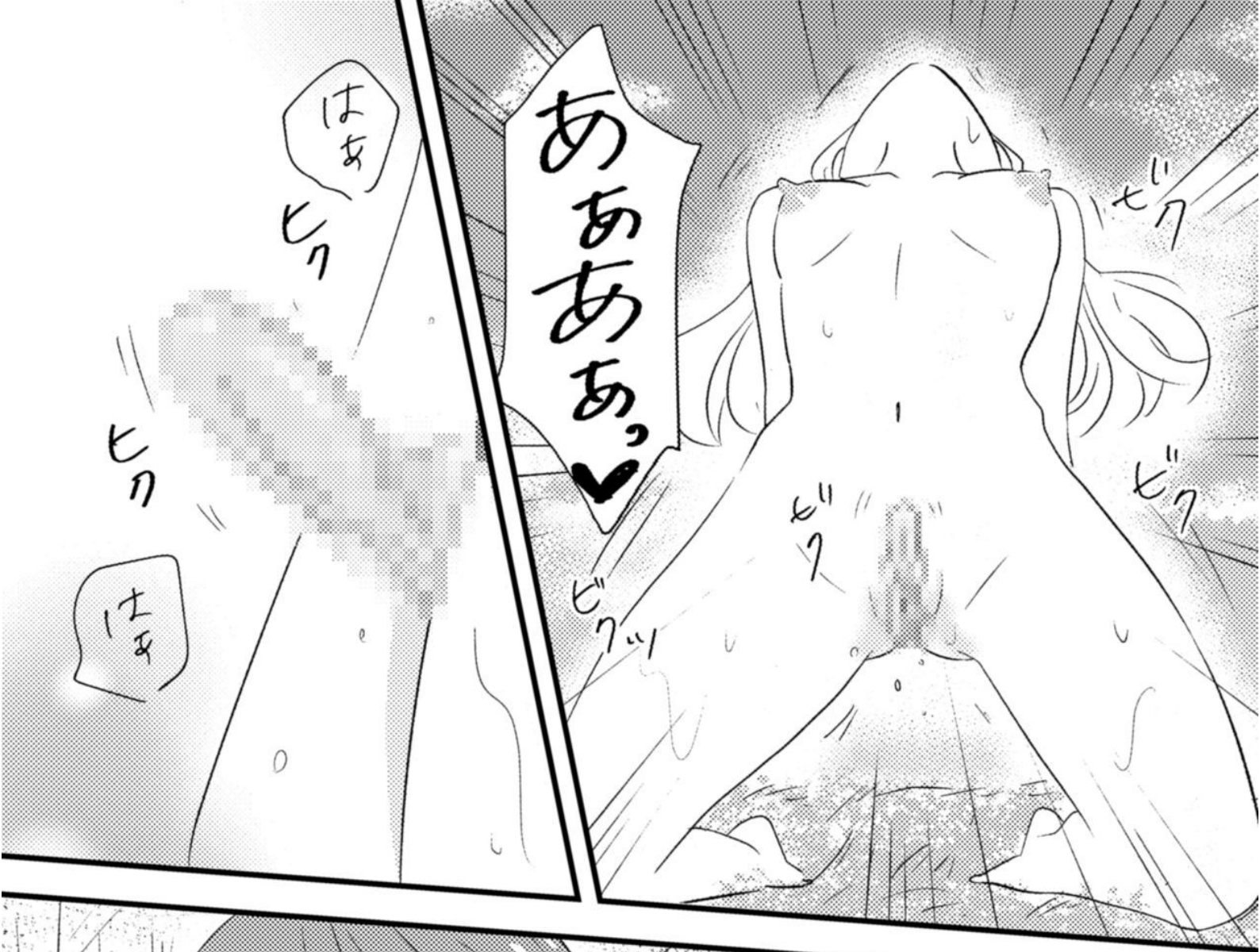














お嬢様のためなら…

感度も高く
性欲も強い

それは
夜まで続いた

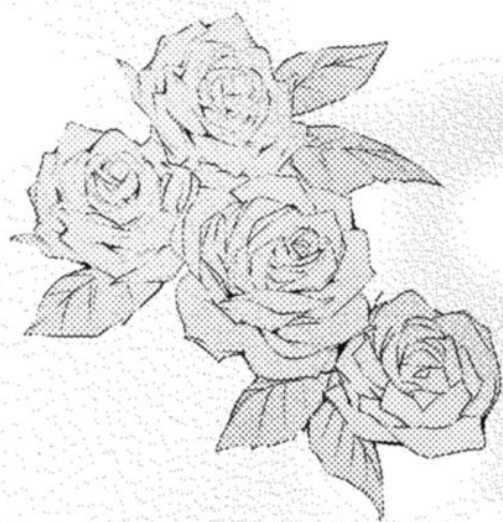


お嬢様…

これからきつと
苦勞なさること
でしょう

私がお支え
しますからね





二人の関係性が進んだ
続きが描ければいいなあと
思っております。

